

2

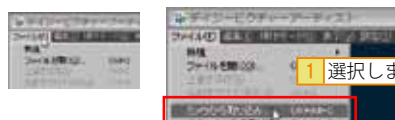
デジピクチャーアーティストの基本操作

BASIC

1. 画像編集モードの基本操作

写真をパソコンに取り込む

- 1 メニューバーの[ファイル]から[カメラから取り込み]を選択します。

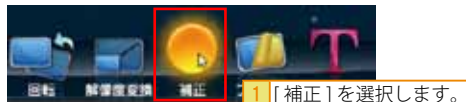


- 2 [カメラから取り込み] ウィンドウが表示されるので、取り込む画像を選択し [OK] ボタンを選択クリックします。



写真を補正する

- 1 ツールバーから[補正]を選択します。




- 2 [補正セクション] ウィンドウに切り替わります。



ATTENTION

一部のデジタルカメラは [カメラから取り込み] に対応していません。その場合は、エクスプローラからパソコンへ取り込んでください。

 **解像度について**
詳しい解説は P.161 をご覧ください。

ここでは[明るさ/コントラスト]の操作方法を2種類紹介します。

ギャラリー補正

9つの補正パターンが表示され、目で見て色味を選べる補正方法です。

コントロールメニューの[タスクバー]から[明るさ]を選択します。

※ここでは、例として[明るさ]を説明しています。



[補正画像]に、ギャラリー補正で選択した効果が反映されます。



マニュアル補正

自分でパラメータを設定して、好みの色味の画像を作ることができる補正方法です。

ここでは[明るさ/コントラスト]に記載されている2つの操作方法と補正効果を説明します。

明るさ



補正前



補正後

画像全体の明るさを設定します。教室や体育館などで写真を撮影すると、暗く写ってしまうことがあります。そういった写真を正しい明るさに補正することができます。

コントラスト



補正前



補正後

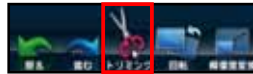
画像の黒い部分から白い部分までの比率を設定します。日中に校庭で写真を撮影すると、ぼやけた写真になってしまうことがあります。コントラストを調整することで滑らかなトーンの写真にすることができます。

- 補正値が確定したら [OK] を選択します。設定した補正値が元画像に反映します。



トリミングで写真を切り抜く

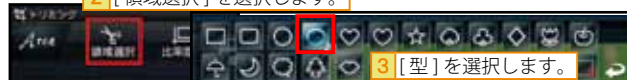
- 1 ツールバーから [トリミング] を選択します。



- 1 [トリミング] を選択します。

- 2 [領域選択] から [型] を選択し、[OK] をクリックします。

- 2 [領域選択] を選択します。



- 3 [型] を選択します。

- 4 [OK] を選択します。



設定した形に切り抜かれます。

▶ ATTENTION



選択した型が写真の上に表示され、切り抜かれる部分だけ原色で表示されます。

写真の回転

- 1 ツールバーから [回転] を選択します。



- 1 [回転] を選択します。

- 2 [プリセット] から回転したい方向のボタンを選択し、[OK] をクリックします。



- 2 回転角を選択します。

- 3 [OK] を選択します。



調整前

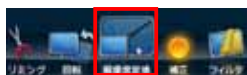


画像が設定した角度に変わります。

解像度変換でファイル容量を調整

サイズ指定

- 1 ツールバーから [解像度変換] を選択します。



- 1 [解像度変換] を選択します。

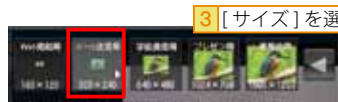
- 2 [サイズ指定] から任意のサイズを選択し、[OK] をクリックします。



- 2 [サイズ指定] を選択します。

- 4 [OK] を選択します。

※ [横] × [縦] に上記で設定した値が反映します。



- 3 [サイズ] を選択します。

学校でよく使われている画像サイズが表示されます。



1024 × 768



320 × 240

マニュアル指定

- 1 ツールバーから [解像度変換] を選択します。



- 1 [解像度変換] を選択します。

- 2 エディットコントロールにキーボードで任意の値を入力し、[OK] をクリックします。



- 2 任意の [数値] を入力します。

- 3 [OK] を選択します。



1024 × 768



320 × 240

▶ ATTENTION

[縦横比を固定] が ON の場合、[横][縦] のいずれかの値を入力すると、もう片方の値を写真の比率に合わせて算出され、自動で入力されます。



フィルタ効果を掛ける

- 1 ツールバーから [フィルタ] を選択します。



- 2 [フィルタ選択] ウィンドウに切り替わります。



- 3 パラメータを設定して効果を決定します。

フィルタ効果を設定する方法が 2 種類あります。

例. クロスフォーカス

ギャラリー

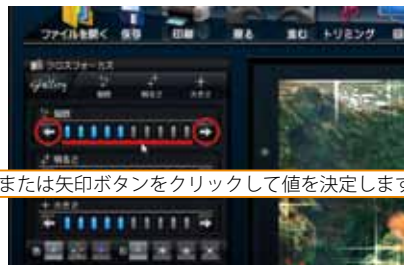
[個数] をクリックするとギャラリーウィンドウが表示します。



- 2 任意の効果を選択して [OK] をクリックします。

マニュアル

スライダーを調整することで、フィルタ効果を細かく設定することができます。

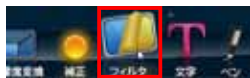


- 4 [OK] をクリックすると [元画像] に効果が反映されます。

部分的にフィルタ効果を掛ける

例. ぼかし

- ① ツールバーから [フィルタ] を選択します。



- ② [フィルタ選択] ウィンドウに切り替わります。



- ③ 描画をするペンの [太さ] を設定します。



- ④ [OK] ボタンをクリックすると、フィルタ効果が確定します。
※ [OK] ボタンは [ぼかし] 効果のみの機能になります。

▶ ATTENTION

効果が薄い場合は、[OK] ボタンを選択し、再度設定すると効果が強くなります。
※ [OK] ボタンは [ぼかし] 効果のみの機能になります。

文字の入力

- 1 ツールバーから [文字] を選択します。



- 2 キーボードで文字を入力します。



サイズ
文字の倍率を設定します。

フォント
フォントを設定します。エディットに表示されるフォントがプレビューになっています。

向き
[ヨコ書き][タテ書き]を設定します。

形状
[正体][斜体]を設定します。

カラー設定
文字の色を設定します。

削除
入力した文字テキストを削除します。

太さ
[太さ]を設定できます。

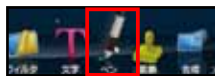
位置
入力枠のテキスト内での位置を調整します。

The image shows a text formatting panel with the following elements highlighted:

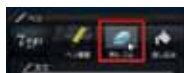
- Font:** A dropdown menu showing 'MS Pゴシック'.
- Size:** A numeric input field showing '100.00'.
- Direction:** Two icons for 'ヨコ書き' (horizontal) and 'タテ書き' (vertical).
- Weight:** Two icons for 'あ' (normal) and 'あ' (bold).
- Shape:** Two icons for 'T' (upright) and 'T' (italic).
- Color:** A color selection box.
- Position:** Three icons for '左揃え' (left), '中心' (center), and '右揃え' (right).
- Delete:** A blue button labeled '削除'.

ペイントを使おう

- 1 ツールバーから[ペン]を選択します。



- 1 キャンバスにカーソルを合わせてドラッグすると絵が描けます。



- 2 [消しゴム]ツールを選択し、任意の場所をドラッグすると描画した部分が消えます。

- 2 ペンの太さを調整します。



スライダーを右へスライドするとペン先が太くなり、左へスライドするとペン先が細くなります。

- 3 [領域選択]をクリックします。



- 1 キャンバスに選択した選択枠が表示されます。

- 2 [描画]ボタンをクリックします。



選択枠に合わせてルーラー描画ができます。

▶ ATTENTION



ペンの種類

詳しい解説は P.163 をご覧ください。

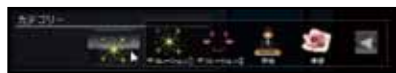
装飾で写真を飾る



[装飾] ボタンをクリックし、[スタンプ][ころころスタンプ][フレーム]から好きな装飾を選択します。

共通操作

カテゴリ



さまざまな素材がカテゴリ別に分かれて搭載されており、分類されたカテゴリを選択することで、サムネイルから素材が選びやすくなります。

濃度（スタンプ・ころころスタンプのみ）



スライダーを右へスライドすると素材の濃度が濃くなり、左へスライドすると素材の濃度が薄くなります。

スタンプ

画像にワンクリックで多彩なスタンプを押すことができます。デコレーション系のスタンプや学校行事のスタンプなど、画像にアクセントを加えてより楽しい画像編集を行うことができます。

ころころスタンプ

画像にドラッグをするだけで4種類のイラストが楽しめるころころスタンプを押すことができます。動物や植物など学校でおなじみの道具をモチーフにした素材を搭載しており、学級通信や校外学習の写真などを引き立てることができます。

フレーム

画像に芸術分野からデコレーション系までの幅広いフレーム素材を付けることができます。集合写真にフレームを付けたり、生徒の作品に額縁を付けたり、さまざまな活用方法があります。

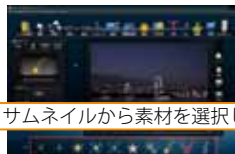
▶ ATTENTION

素材について
詳しい解説は P.166 をご覧ください。

▶ ATTENTION

サムネイルとは…
親指の爪ほどの大きさの写真を表す言葉で、本来の画像を縮小した画像のことです。

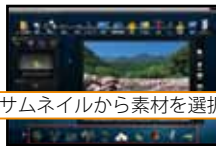
1 サムネイルから素材を選択します。



2 キャンバスをクリックします。



1 サムネイルから素材を選択します。



2 キャンバスをドラッグします。



1 サムネイルから素材を選択します。



2 画像にフレームが付きます。



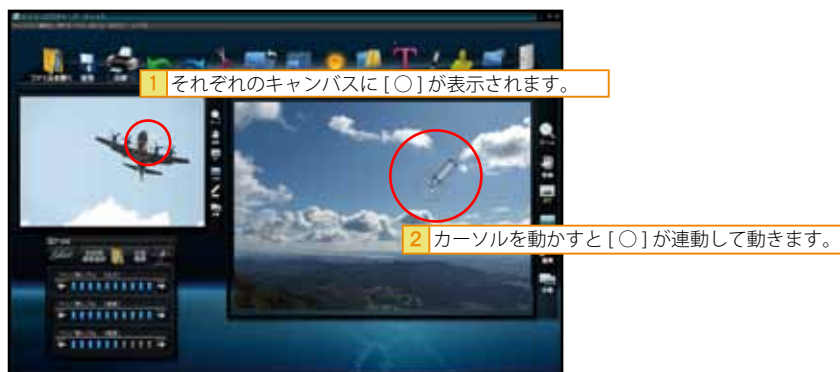
写真の合成術

- 1 ツールバーから [合成] を選択します。



- 1 [合成用画像選択] から被写体の画像を選択します。

- 2 マウスのカーソルを背景画像 (右側のキャンバス) に合わせます。



- 3 被写体画像 (左側のキャンバス) を見ながら被写体のやや内側をドラッグすると、背景画像 (右側のキャンバス) にペンで描いたように合成できます。



▶ ATTENTION

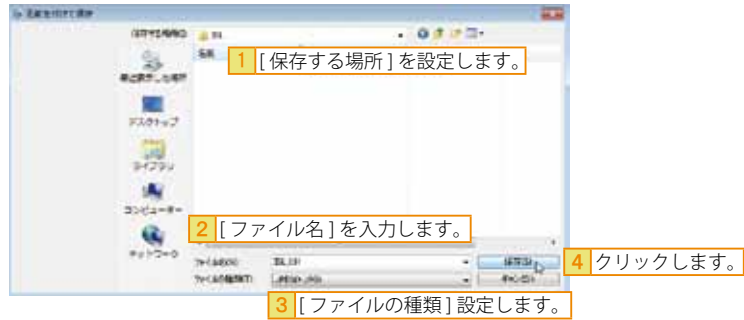
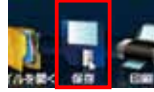
合成時の背景となる画像は [ファイルを開く] で選択した画像になります。

▶ POINT

[ペン/消しゴム] の感度を上げることで、色の境界線認識が高まり、細かい部分をきれいに合成できます。

様々な保存方法

- ① ツールバーから [保存] を選択します。



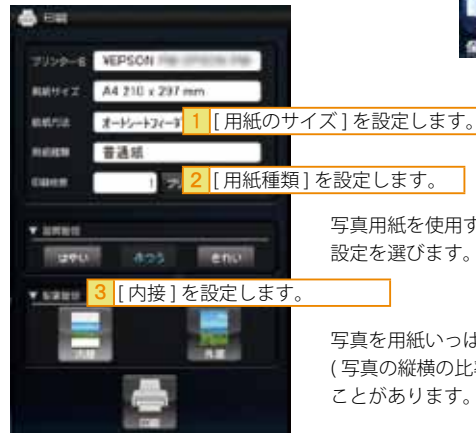
- | | |
|-------------|---------------------------------|
| JPEG(*.JPG) | 学校で一番使われている保存形式で圧縮しても画像の劣化が少ない。 |
| BMP(*.BMP) | Windows 標準の保存形式で無圧縮の状態でも保存できる。 |
| GIF(*.GIF) | Web ページや背景を白地の背景を透明にして保存できる。 |
| PNG(*.PNG) | Web ページに用いられ圧縮率が高い。 |
| TIF(*.TIF) | 無圧縮で保存ができるので高画質に保存することができる。 |

ATTENTION

保存形式について
詳しい解説は P.162 をご覧ください。

用紙に合わせて印刷

- ① ツールバーから [印刷] を選択します。



写真用紙を使用する場合、用紙メーカーの用紙種類に合った設定を選びます。

写真を用紙いっぱい印刷する場合は [外接] を設定します。
(写真の縦横の比率と用紙の比率によって一部切り取られることがあります。)